

日本周産期・新生児医学会 教育・研修委員会企画セミナーのご案内

締切:5月22日(金) 午後3時 (ただし先着順です)

※3 ページ目の「お申し込みの際の注意事項」を必ずお読みになり、お申し込みください。

ハンズオン形式の①・②・③・⑥のセミナーは、受講料が必要です。受講のお申し込みをいただいた後、事務局から決済用の URL をメールアドレス宛にお送りし、ご自身のクレジットカードで決済していただきます。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

[受講応募フォームは こちらからお入りください](#)

セミナー番号① 医療統計セミナー 応用編

日時:7月11日(土) 15:00~17:00 **※学術集会開催の前日ですのでご注意ください**

会場:第8会場 会議室 414+415 (4F)

講師:河合 稜太先生 (大阪公立大学大学院医学研究科医療統計学特任助教)

座長:田嶋 敦先生 (杏林大学医学部 産科婦人科)

募集人数 現地:40名(受講証あり) ウェビナー:100名(受講証なし)

受講料:2,000円

内容:本セミナーでは、臨床研究における回帰分析の基本を整理し、線形回帰、ロジスティック回帰、生存時間解析の適用場面と解釈のポイントを概説するとともに、各自のPCを用いてEZRおよび配布データセットを使った実践形式で、各種回帰モデルの活用法を学びます。

※今回は応用編の開催です。2025年の初級編を受講されていない方でも受講いただけます。

セミナー②・③は開催日時が同じですので、受講申込みの際はご注意ください

[受講応募フォームは こちらからお入りください](#)

セミナー番号② 「急速遂娩の判断と実際」

お申込の際、チェック項目がございますので、ご入力ください

日時:7月12日(日) 9:40~11:40

会場:第10会場 会議室 418 (4F)

講師:長谷川潤一先生

(聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科 周産期発生病態解明学分野教授)

座長:宮越 敬先生 (社会福祉法人聖母会聖母病院 産婦人科)

田嶋 敦先生 (杏林大学医学部 産科婦人科)

募集人数 18名(受講証あり)

受講料:2,000円

内容:急速遂娩は、胎児機能不全などの緊急時に必要となる産科手術手技であるが、分娩を取り扱う産婦人科医には最低限身につけておかなければならない基本手技です。安全な急速遂娩の施行には、適切な手術手技の習得も必要ですが、適切な臨床経過、CTGの判断による選択も重要です。

本ハンズオンセミナーでは急速遂娩の経験の少ない若手産婦人科医を対象に吸引分娩(今回は吸引分娩のみ)の手技の基礎とコツを伝授するだけでなく、急速遂娩を決定する上での判断ポイントについて、シミュレーションを通し、グループディスカッションします。今回は、わが国の安全な産科医療の提供を第一に考えて、実際、当直中などで急速遂娩を一人で判断、施行する可能性のある産婦人科後期研修医に、しっかりと正しい考え方、手技を学んで欲しいと考えています。

[受講応募フォームは こちらからお入りください](#)

セミナー番号③「この瞬間、あなたは どうする？」若手のための実践「pit & fall」対応:

急変時対応・外科疾患の分娩立会い・家族説明

日 時：7月12日(日) 9:40~11:40

会 場：第11会場 会議室 419 (4F)

講 師：甘利昭一郎先生 (東京大学大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻)

座 長：中西 秀彦先生 (北里大学医学部附属新世紀医療開発センター

先端医療領域開発部門 新生児集中治療学)

石田 宗司先生 (北里大学病院 小児科)

募集人数 18名 (受講証あり)

受講料：2,000円

内 容：新生児科医にとって、「当直での予期せぬ外科疾患の児の分娩立ち会い」、「早産児の呼吸器管理中の急変」、そして「重篤な病名告知や医療ミスについて家族への説明」といった場面は、教科書通りにはいかず、一筋縄ではいかない“pit & fall”が潜む、避けて通れない場面です。本セミナーでは、この3つの場面に対し、シナリオを通じたハンズオントレーニングで自信と冷静さを持って対応できる能力の向上を目指します。

※1~3のセッションのうち2つの受講となるため、第2希望まで入力してください。

なお、各セッションの受講調整はご希望をもとに事務局で行うためご了承ください。

セッション 1.急変時対応 2.外科疾患の分娩立会い 3.病状説明

※本セミナーでは、指導者補佐も募集しております。詳細は学会HP「[学会からのお知らせ](#)」をご確認ください。

[申し込み・受講料は不要です。当日会場へ直接お越しください。](#)

セミナー番号④ 出生前診断から始まる新生児外科疾患へのベストサポートを考える

～多職種連携による救命処置と意思決定支援～

日 時：7月12日(日) 9:40~11:40

会 場：第9会場 会議室 416+417

Opening comment：照井克生先生 (埼玉医科大学総合医療センター副院長・産科麻酔科)

講 師：松岡 隆先生 (昭和医科大学医学部 産婦人科学講座)

狩野 元宏先生 (慶應義塾大学医学部 小児外科)

杉浦 弘先生 (聖隷浜松病院 新生児科)

伊藤 健太先生 (愛知県立小児医療センター 総合診療科)

石戸 博隆先生 (埼玉医科大学総合医療センター小児科小児循環器部門)

天願 愛先生 (東京大学医学部附属病院 NICU)

座 長：橋 一也先生 (大阪母子医療センター 麻酔科)

井上成一朗先生 (埼玉医科大学総合医療センター小児外科)

収容可能人数 約130名

内 容：胎児期に出生前診断された新生児外科疾患患者に対し、出生後の迅速な救命処置や手術対応、患児・家族の対応等を行う際に、患児とその家族にとって最善の医療を提供するために何が重要なのか？を中心に多職種（産科、新生児科、小児外科、小児循環器科、専門看護師）が共同で考え、活発な議論をしていただきたいと思います。産科・新生児科・小児外科・小児循環器・看護・麻酔・新生児看護の視点を有機的につなぎ、より良い説明・意思決定・周術期連携を深める場としたいと考えています。個別の疾患をテーマにするのではなく、生後迅速な対応を要する疾患、染色体異常を伴う疾患、重症度が高く prenatal visit が重要な疾患、重症心疾患を合併し出生後の手術のリスクとなり得る症例等、幅広いテーマで講師の先生方に講演いただき総合討論に繋げましょう。

[申し込み・受講料は不要です。当日会場へ直接お越しください。](#)

セミナー番号⑤ 基礎から学ぶ！！フォローアップのABC～症例を通じて学ぼう

日 時：7月13日(月) 9:00~11:00

会 場：第8会場 会議室 414+415 (4F)

講 師：豊島 勝昭先生 (神奈川県立こども医療センター 新生児科)

豊 奈々絵先生 (大阪母子医療センター 新生児科)

二宮 伸介先生 (倉敷中央病院 遺伝診療部)

吉田 文俊先生 (富山大学附属病院周産母子センター 新生児部門)

座 長：中西 秀彦先生 (北里大学医学部附属新世紀医療開発センター新生児集中治療学)

久保田真通先生 (倉敷成人病センター小児科)

会場収容可能人数 約130名

内 容：本セミナーでは、フォローアップの基本的な考え方から、超早産児、ダウン症候群、循環器疾患を合併した児まで、多様な実症例を通して“現場で迷いやすいポイント”を整理します。発達評価、家族支援、診断と長期支援の視点を第一線のエキスパートとともに学び、「後障害なき生存」を支える実践知を共有します。明日からの診療に役立つヒント満載のハンズオンセミナーです。

受講応募フォームは [こちらからお入りください](#)

セミナー番号⑥「新生児低酸素性虚血性脳症のMRI読影 2歳予後の予測」

申込の際、Formに卒後年数と読影機会をご入力ください

日 時：7月14日(火) 13:20~15:20

会 場：第12会場 会議室 801・802 (8F)

講 師：柴崎 淳先生 (神奈川県立こども医療センター 新生児科)

スーパーバイザー：相田典子先生 (神奈川県立こども医療センター放射線科・横浜市立大学放射線診断科)

座 長：郷 勇人先生 (福島県立医科大学附属病院 総合周産期母子医療センター)

友滝清一先生 (京都大学医学部附属病院 小児科)

募集人数 30名 (受講証あり)

受講料：2,000円

内 容：DICOMビューア「OsiriX」を使用し、低酸素性虚血性脳症(HIE)の頭部MRIを実践形式で読影するセミナーです。講師による解説の後、小グループに分かれて、実際の画像を読影します。

本セミナーでは、HIEにおけるMRI読影の基本的パターンと評価のポイントを理解するとともに、画像所見からの予後予測には一定の限界と不確実性が存在することも理解した上での生後18か月時点の予後予測について学習することを目的とします。

※お申し込みの際の注意事項(必ずお読みください)

- ・①・②・③・⑥のセミナーは、原則として申し込み順です。ただし、当学会会員でセミナー受講歴のない方を優先させていただきます。
- ・お一人3つまで応募フォームにご入力いただけます。(超えた場合は全ての申し込みを削除いたします。変更したい場合は seminar2026@jspm.org へお問い合わせください。)
- ・受講希望セミナーの入力忘れ、申込者情報の入力漏れによる再入力を受け付けいたしません(受付不可であった旨、事務局から連絡はいたしません)。
- ・申し込み確認はご遠慮ください。申込書の拝受メールは送信しません。
- ・お支払いいただいた受講料は、いかなる理由でも返金いたしません。
- ・セミナー直前・直後にご発表や参加されたいセッションのある方はお申し込みをご遠慮ください。また、セミナー中の入退席もご遠慮ください。
- ・事務局からは受講決定時・事前案内等、メールを複数回お送りします。申し込みの際、連絡の取れるアドレスを記載いただきますようお願いいたします。メール不着による責任は負いません。jspm.orgのメールを受信できるようご自身でメールの設定をしてください。事務局からのメールが来ない場合は、迷惑メールフォルダ等ご確認ください。お申し込み後、事務局からの連絡がない場合は7月1日(水)までに必ずお問い合わせください。
- ・②ならびに⑥のセミナーは一部の個人情報(お名前・領域・卒後年数や医師年数・ご所属先等)を、講師・チューター・インストラクターへお伝えします。ご了承いただける方のみお申し込みください。